

WEEKLY REPORT No.1305

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1530回例会

会員増強

新クラブ結成推進月間

SPEAK OUT DAY

平成27年8月6日(木)

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 57名

48名中39名出席

出席率 81・25%

前々回出席率 92・00%

例会プログラム

★14-15年度

・派遣青少年交換学生帰国報告

・川畑青少年奉仕委員長

・受入青少年交換学生到着口案内

★堀江地区国際奉仕副委員長

★第1回地区国際奉仕委員会報告

★吉田明夫職業奉仕副委員長

★第3回WFFチケット購入案内

★吉田憲一親睦活動委員長

・誕生日のお祝い

★SPEAK OUT DAY

「ロータリーソング」

「君が代」「四つのアスト」

指揮者 岡村 隆徳

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

14-15年度派遣青少年交換学生

伊藤 彩香さん

「ニコボックス」

伊藤彩香さんお帰りなさい。帰国報告楽しみにしています。

田崎 雅三・酒井 修

伊藤彩香さんお帰りなさい。

高木 政義・鬼頭 茂成

伊藤彩香さんお帰りなさい。

これからも名古屋大須ロータリー

クラブをよろこぶね!! 春日井和良

伊藤彩香さんお帰りなさい!

林 順治

誕生日です。感謝、感謝、フクの日

29日に85才になります。今後も

よろこぶ御願い申し上げます。

小野 定男

誕生日です。

堀江 英弥・丹下 富博

杉本 忠夫・東滝 卓也

妻の誕生日です。明日、世界平和

フェローの澤屋泰津子さんの壮行

会です。よろしくお願ひします。

吉田 隆彦

女房の誕生日です。

妻の誕生日です。

ガラケーから 아이폰 に替えて

大パニックです。年寄りには絶対替

えてはいけません。尾上 昇

書いて日が続きます。1日愛ください。

岡村 隆徳

会長挨拶

会長 田崎 雅三

皆さんこんにちは。連日あまりの暑さ、いかがお過ごしでしょうか。

さて、ほぼ毎日「今日は何の日」と

という物が存在しますが、今日8

月6日はまずもって広島平和記念

日ですが、日本放送協会(NHK)



設立の日でもあります。(1926年。

民放NHKとも昔から視聴率

競争はあるのですが、これまでの

関東地区における最高視聴率は

「Jテオリサーチ」が視聴率調査

を開始した1962年12月3日以

降では、1963年12月31日の

NHK総合テレビ第14回NHK

紅白歌合戦で記録した数値がト

ップで81・4%。司会は江利チエ

ミさん・宮田 輝さんでした。瞬

間最高視聴率は五月みどりさん歌

唱時の85・3%。北島三郎さんが

初出場、紅組のトリは美空ひばり

さん、白組のトリは三波春夫さん

でした。

ちなみに2014年の「第65回

NHK紅白歌合戦」の視聴率38・

75%(1・2部平均)。ゴールデン

で15%を超えると成功と言われ

る現在では、ちよっと考えられ

ない視聴率ですね。

我々は今日も平和で美味しい東

急ホテルの昼ご飯を食へられる事

に感謝したいと思います。

ありがとうございます。

派遣青少年交換学生帰国報告

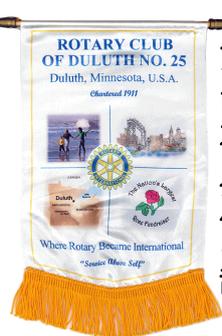
14-15年度派遣青少年交換学生

伊藤 彩香

派遣先RC: 第5080地区

Rotary Club of Duluth

アメリカ ダルース市



こんにちは。2014-201

5年ロータリー青少年交換学生と

してアメリカミネソタ州ダルース

市に派遣していただいた帰国生の

伊藤彩香です。今日は私のダルー

スでの留学生活、経験したこと

成長できたことなどについてお話

したいと思います。

ダルースの紹介

最初に私が1年間ステイさせて

いただいた町ダルースについてお

話したいと思います。

ダルース市はアメリカの五大湖

の中で最大の湖、スペリオール湖の

最西端に位置する町です。淡水湖

としては世界最大の面積を誇り、

だいたいの北海道と同じ位の大き

です。人口は85,000人で名古

屋市の26分の1の規模の小さい市

ですが、日本の千葉県いすみ市と

姉妹都市提携を結んでいて、日本

の庭園があったり、と日本に対す

る興味が大きい町でもあります。気



こしやすい気候で、名古屋の夏に慣れていた私は最初の頃は寒いと感じ、半そで一枚で過ごすことはできませんでした。逆に日本に帰ってきた際には飛行機を降りて最初の一言が暑い！でしたが、冬はカナダに近いというところもあり、気温はマイナス40℃にもなることもある極寒の町でした。積雪

量も多く、夏にはスベリオル湖も凍りつき湖の上を歩くこともできます。このように気候は厳しいところではありませんが、自然が本当に豊かで、町全体が美しい湖と自然とともに過ごしていることも素敵なお話だと思っています。

去年の8月18日にわくわくする気持ちと、不安に思う気持ち、その二つを抱えて日本を飛び立ちました。行きの飛行機の中ではいろいろと自分の英語力のなさを実感させられました。それでも10時間以上のフライトの末、空港に到着し、素敵なホストファミリーの皆さんに迎えていただいたときは、やっとたどり着けたという安心感が本当にいっぱい、また一人でここまでくることができたという達成感でもつれしかたです。こうして私の1年間のアメリカでの生活が始まりました。

私も2つのホストファミリーに1年間ステイさせていただきました。第一ホストはカーマイケルさんで最初の半年間お世話になりました。7歳のホストシスターと11歳のホストブラザーは本当にかわいくて、最初の頃は英語がまだしゃべれなかった私に対して、積極的に一緒に遊ぼうと誘って

MY HOST FAMILIES CARMICHAELS



れました。ホストブラザーはお料理好きな方で、私が日本食を作ると作り方を教えてほしいといわれたり、大晦日には年越しそばの代わりに一緒にラーメンを作ってみたり、そのほかにもゲーキやクッキーの焼き方を習ったり、と一緒に料理をする時間が本当に楽しくて、まだまだ料理をすることは苦手ですが、作ることも、食べることも大好きになりました。

残りの半年はマークハムさんにお世話になりました。ホストシスターが三人いたのですが、一番上の私と同じ年のホストシスターはロータリーの交換留学生としてスペインにステイしていました。彼女は私が日本に帰る数日前に帰国したのでアメリカで会うことができました。お互い最初の頃のように留学生生活とは何か想像もつかなかった頃から、1年間充実した時

間を過ごした後には会うのは本当に新鮮でした。たった数日間でしたがお互い良い時間を過ごすことができたと思います。他にも15歳と10歳のホストシスターがいて、15歳のホストシスターと一緒に高校も通い、私にとっては本当に頼もしいホストシスターでした。10歳のホストシスターは折り紙やあやとり、剣玉など日本の遊びが大好きで私に折り紙と一緒に作ろうといってくれたり、クリスマスには一緒に作った折り紙をツリーに飾りつけたりもしました。

第一ホストと第二ホストファミリーは本当に仲の良い家族で、いつも一緒にご飯を食べたり、いろいろなところに行ったりとひとつの大きな家族のようでした。最初の頃は英語がうまくしゃべれない私に対してわかりやすく、ゆつくりとした英語で話しかけてくださり、それでもいろいろな話題で積極的にコミュニケーションをとって私の英語が少しでも早く上達するよう力を貸してくださいました。ハロウィンやクリスマス、その他のアメリカの祝日など、アメリカの家族でしか体験できないこともたくさん経験させていただきました。それだけではなく毎日のほんのちょっとしたこと、買い物や映画を見るなどのことが私にとってはホストファミリーと過ごせるとても楽しい大切な時間で1年間本当に充実した時間を過ごすことができました。

学校 アメリカの学校生活についてもお話したいと思います。

学校は9月1日に始まり、11年生(日本で言う高校2年生)に入りました。アメリカの高校は日本とは違つことがたくさんあり、登校初日はロッカーの鍵の開け方もわからず、クラスの場所もわからず、一人で学校中を走り回っていました。それでもなれない英語で精一杯の自己紹介を先生方、クラスメイトにしてクラスにあたり

も励ましてくださり、私が一人でできないことはいつも手伝ってくださいました。ホストファミリーの存在が大きく、またこのホストファミリーの皆さんがいなかったら私の一年はこんなに充実したものにはならなかったと思います。素敵なホストファミリーに出会うことができて本当に良かったです。

MY HOST FAMILIES MARKHAMS



DULUTH HIGH SCHOOL

Track



Exchange students

Cross Country Ski



かく迎え入れていただくことができ
ました。授業も宿題ももちろん
全て英語で、先生やクラスメイト
が何を言っているのか、何のテー
マを話しているのかも理解できま
せんでした。

しかし、わからないものをわか
らないままにしておいては何も始
まらないと思う、先生方、クラス
メイト、ホストマザー、ホストフ
アザー、皆さんにたくさん質問し、
毎日辞書を持ち歩いて、少しずつ、
少しずつ、今日は何のテーマをや
ったかなど授業内容も理解できる



よくなりました。

アメリカでしか取ることででき
ないアメリカ史の授業をつけ、そ
の他にも生物などの日本と内容は
同じ、でも授業の仕方が少しずつ
違つものまで、どの授業も楽しく
とても興味深かったです。私の一
番好きだった授業は美術の時間で
絵を描くことが好きな私は毎日楽
しく絵を書いて、先生にアドバイ
スをいただいたり、アートショー
に出展させていただいたり、と
ても楽しかったです。また日本に
特にアニメに興味のある子が多く
いつか日本に行ってみたいとい
う子もいてたくさんの方達を作る
こともできました。

アメリカの高校では学校イベン
トもなかなか違い、ダンスパー
ティーがあったり、spirit weekと
呼ばれる学校のお祭りのようなも
の、タレントショーなど日本では
経験できないものをたくさん経験
することができました。私の高校
には私のほかにも留学生が10人ほ
どいて、みんなでよく集まって一
緒に学校のイベントへ行ったり、
とても楽しい時間を一緒に過こ
すことができました。みな世界の
ほかの国から来ているので、お互
いの国の話、文化の話、留学生の
話など、話題が尽きることなく
また世界のほかの国についてた
くさん知ることができ、そしてま
まだ知りたいーと思うことがた
くさんあります。初めてのことを
一緒に経験した大切な仲間です。

部活も参加し、冬にはクロスカ
ントリースキー部に入部し、日本
では体験できないことができミネ
ソタの冬を楽しく過ごすことがで
きました。クロスカントリーはな
かなかハードなスポーツで、練習
や大会が終わる頃にはいつも雪の
上で汗まみれになっていました。
日本ではあまりのポピュラーな競技
ではないので、スキーの手入れの
仕方から何から何までが初めての
ことで、とても素敵な雪国の経験
をすることができました。

春には陸上部に参加し、雪がと
けたばかりのまだ肌寒いタール
スを毎日チームメイトと楽しく走
りました。最初の大会で転ぶとい
うちょっとしたアクシデントもあ
りましたが、シーズンの終わりに
は自己ベストも出すことができ、
とてもうれしかったです。

こちらの部活も私にとっては初
めてで、最初はアメリカで初めて
のことで、と不安なこともありま
したが、毎日少しずつ友達ができ
て、タイムが速くなったり、でき
ることが増えたり、少しずつ成長
していくことができました。

ロータリー

次にロータリーについてお話し
たいと思います。ホストロータ
リークラブはOctober29ロータ
リークラブで三ヶ月に一度ほど例会
に参加させていただき、5月にあ
った例会では私の留学生生活につ
いての卓話をさせていただきまし

た。帰国前にもスピーチをさせてい
たとき、とても暖かくお見送りをし
ていただきました。またタール
ス市長にお会いさせていただくこ
ともでき、名古屋市長からのお手
紙をお渡しすることができました。
私はセントラルステイツの55
80地区に派遣させていただいた
のですが、この地区はカナダも含
まれていることが特徴的で、ロー
タリーのオリエンテーションがカ
ナダで行われるということもあり
ました。私の地区には14人の留
生が世界各国から来ていました。

地区のオリエンテーションは2ヶ
月に1回ほどあり、毎回二泊三日
ほどの楽しいオリエンテーション
となっていました。今年アメリカ
から他の国に派遣される留学生や、
帰国してきた留学生との交流も多
く、毎回本当にみんなに会うのを
楽しみにしていました。

7月の10日から13日までの四
日間にはロータリーのセントラル
ステイツのオリエンテーションが
あり、私のステイさせていた
たいミネソタ州をはじめ、アメリカ
北部の州からたくさんの方達が
集まりました。1,000人以上の
留学生が集まったこのオリエン
テーションは本当に今まで見たこ
とがないほどの迫力で、初めて会
う子がほとんどでしたが、1年間同
じ経験をしてきたということでも
みなすべし仲良くなることができ
ました。このオリエンテーション
ではたくさんの方達のディスカ
ッション

ROTARY EXCHANGE STUDENTS

Central States conference



の時間もあって、この一年で何が
変わったか、何を経験したか、これ
からの留学生たちに何かできるこ
とはあるか、帰国後何をしたいか
など、とてもいろいろなことを考
える時間を与えていただき、とて
も良い機会だったなと思います。
このセントラルステイツのオリ
エンテーションが私達留学生にと
っては本当にお互いに会える最後
の機会だったので、ディスカッシ
ョンだけではなく他にもとてもた
くさんの楽しいイベントが行われ
本当にロータリーの留学生たちか
らご支援いただき感謝しました。
ロータリーの留学生としてアメ
リカに派遣させていただきこの一
年で自分を大きく変えることがで
きたと思います。

英語力の面では、本当に最初の
頃は自分の伝えたいことはなんと
なく伝えることができる、でも普
通に楽しく会話ができるという状
況ではありませんでした。しかし



THIS IS ONE OF THE BEST TIME IN MY LIFE

ホストファミリーや友達との会話
また学校の授業や宿題を通して語
彙力やリスニング力を少しずつあ
げていくことができ、今では誰で
ても楽しく会話をすることができ
るようになりました。

英語ができない、だから話せない
ではなく、英語はできない。でも
話そうと努力はなくては行けない、
という点から、誰でも積極的に
話そうと、知らない人に
話しかけるということ、また学校
やロータリーのオリエンテーショ
ン、例会を通じてのスピーチ能力
も上げるようになってきました。

言葉がまったく違う世界に行っ
ても、人とコミュニケーションを
とるという点は変わりません。
世界のどこでもひとつ挨拶やその
国の言葉を知っていると、そして積
極的に話しかければ、相手も助け
てくれる、逆に誰かがそのような
立場であったら今度は私が助けて
あげたいと思いました。

て、その国の人であったとき、一
言言ってみて通じたときのうれし
さは本当に心に残りました。私が
靴紐を結んでいるとき、ある他の
国の留学生がどうやってその結び
方をするのかと聞きましました。そ
で何人かで集まって靴紐の結び方
について見せ合ったところ、違っ
た結び方をした子が何人かいまし
た。これは特に国の違いなどは関
係ありませんが、やり方は違っ
た。でも結局は靴紐は結べている
ところが私は面白く、とても興味
深かったです。

文化の違いも同じなのではない
でしょうか。文化は違う、でも違
うからこそ面白い、そして楽しい。
国だけではなく人それぞれが、そ
のような違いを持っているからこ
そ、会話をしている楽しい面白い
と思えるのではないのでしょうか。

留学生として一番いい思い出
出会った人にお別れをしながらは
いけないことだと思います。でも
一番いい事もまたたくさんの人に
出会ったことができたというので
す。ここからが本当の始まりなの
かもしれません。これから世界
のどこかに行っても誰か友達に会
えるという素敵なことができるか
らです。一人ひとりに笑顔で、「そ
うしたら」ではなく「また会おう
ねー」ということができました。

たくさんのお話を学び、経験し、自
分を成長させ、とても楽しいこと
ができた、素晴らしい一年でした。
このように素晴らしい貴重な経

験をする機会を与えてくださった
名士古屋大須ロータリークラブの皆
様、地区青少年交換委員会の皆様
に本当に感謝しております。

ご清聴ありがとうございます。

地区国際奉仕委員長会報告

国際奉仕副委員長 堀江 英弥

地区国際奉仕委員長会議が7月
31日に文京区フランドホテルにおい
て開催されました。

まず特別出席者の加藤陽一ガバ
ナー始め4名が紹介されました。

次に杉浦地区国際奉仕委員長委員
長の挨拶で、「今年も第3回のWFF
が10月24、25日開催されます。

その余剰金の一部を含めて本年度
はミャンマーで国際奉仕活動を行
いますので協力下さい。また各ク
ラブでも独自に国際奉仕活動に取
り組んで下さい」との挨拶があり
ました。続いてガバナーから地区
方針「ロータリーの原点に学び、心
く友情と寛容の輪を拡げよう」と

地区行動指針および5月28日、
6月1日に韓国で開催される国際
大会への参加要請がありました。

講演に移り特定非営利活動法人
社会開発機構AMDAの国内事業
部 大谷聡氏から「パール・ホンシ
ユノスやガーナなどでRの提唱
する6つの重点項目に合致した世
界での活動報告があり、後半は理
事長 鈴木俊介氏から、「自分は財
団奨学生でありロータリーに恩返

しをしたい」と言う深い思いで事業
を行っている、一緒になって事業を
お手伝いしたい」とお話しをされ
ました。

休憩を挟んで後半は地区補助金
セミナーとして地区財団補助金委
員会の櫻井委員長と高山副委員長
から、主にグローバル補助金の説
明と豊橋RCの実例を交えて解り
やすく解説があり、より多くのク
ラブで使用して欲しい旨の話があ
り、近藤ガバナー補佐の講評で1
部を終了しました。

2部は大竹地区幹事の乾杯で懇
親会が開かれ、AMDAの方や補
助金委員会の2名も参加して、各
クラブ委員長さんの名刺交換や情
報交換もされ、懇親を深めること
ができました。最後に加藤地区副
幹事の閉会の言葉で終了しました。

その他・お知らせ

ロータリー平和フェロー・
グローバル補助金奨学生
壮行会・懇親会

8月7日(金)名古屋東急ホテル
3階「錦の間」にて、当地区2人目
のロータリー平和フェロー 澤屋
奈津子さんと並びに、グローバル補
助金奨学生では、花倉由利さん(平
和と紛争予防・解決)・西山 毅さ
ん(疾病予防と治療)の2名、合
計3名がロータリー財団(TRF)



より承認
されたこ
とを受け、
地区主催
で壮行会
・懇親会
が開催さ
れました。
財団関
係地区役
員、ロー
タリー財
団関係者
奨学金
・学友・平
和フェロ
ーシップ
委員会を中心に、当クラブからは
ご夫人も含めて11名が参加し、奨
学生を激励しました。

8月13日(木) 例会の案内
定款規定により休会

8月11日(火) ~ 14日(金)
事務局夏期休暇

8月20日(木) 例会の案内

例会変更 同日

納涼夜間例会

於 若宮の杜 迎賓館

受付17時30分 例会18時00分

広報委員会

前田 隆久

大澤 伸悟・杉浦 令淑

*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。